

「スマホサポーター」とのティーミーティング

とき・ところ 令和8年8月13日（木） 13：30～14：30、市役所会議室

参加人数 6人

市側出席者 市長、デジタルイノベーション推進課長 立田、同課職員 福富、田中、
広報広聴課長 岡田

【プログラム】

- ・市長あいさつ
- ・参加者自己紹介と意見交換

【主なご意見等】

- ・スマホ相談会で困りごとやわからないことがあった時に、サポーター同士の横のつながりやナレッジ共有ができるように、例えば、サポーター連絡用の LINE WORKS に、年度の垣根を無くしたトークルームを準備するなど、環境整備を行ってほしい。
 - ・スマホ相談を受けた後のアンケートでは、相談者から「理解・解決ができた」と言って貰っているが、教えた人が家に帰ってからもスマホを使えているかわからない。
 - ・スマホ相談会に来られる人は高齢者が多い一方で、スマホを教えられるほどノウハウやスキルを持っている若い人も多くいる。そういう若い人と高齢者をつなぐことで、スマホ相談会を通じて世代を超えたつながりを生む取組ができればと考えている。例えば、スマホ教室はボランティア活動であるが、どういう活動をすれば地域に役立つのかを子どもたちに考えさせる取組にもできるのではないか。
 - ・スマホの操作に不安があるが、参加に一步踏み出せていない人にも参加してほしいと思っている。スマホ相談会はスマホに関する相談以外にも、生活での困りごとや人生相談のようなものなど、幅広い相談を受けることがあり、相談者に寄り添う活動だと思って対応している。
 - ・市主催のスマホ相談会とは別に、市民が主催しているスマホ教室もある。市主催のスマホ相談会はいつまでやるのか、参加人数の目標値などゴールを明確に示した方が良いのではないか。一方で市民が主催しているスマホ教室は、気らくネット・新寿会との協創など、活動を継続できるよう支援することで、デジタルディバイド解消の一助になるのではないか。
- <市長や担当職員から>
- ・ご意見・ご提案があった内容を、今後の市の取組・活動に反映していく。
 - ・ボランティアを受けた人が運営に回る循環の仕組みづくりを「パワーアップ教室」などで行ってきたい。スマホサポーターについても同様の流れができるようにしたい。

以上